



祇園屋台

明歴2年（1656）の祭礼記録を起源とし、現在に至るまで370年もの歴史を誇る「桐生祇園祭」。その天王番（年番町）を持ち回り「惣六町」と称される本町一〜六丁目の各町会がそれぞれ1基ずつ所有する「祇園屋台」全6基が、11月1日（土）〜3日（月・祝）に開催される桐生市合併20周年記念事業「桐生祇園屋台総揃え」で、全台を組み立てた状態で史上初めて一斉展示される。

現存する祇園屋台は幕末3基、明治時代2基、昭和初期に1基が完成。いずれも車輪を持ち移動可能な大型屋台として全国的にも貴重な存在で、ふんだんに取り込まれた木彫、優美な襖絵、扁額の書など、織都の隆盛を物語る贅を尽くした絢爛豪華な装飾を纏い、その高い芸術性も見逃せない。往時の祭りでは屋台上で夜通し歌舞伎や狂言、芝居が披露され、道路事情により巡行が困難となる明治の中ごろまでは大通りに出して巡行や曳き違いも行われるなど、華やかな祭りの賑わいの中心を鮮やかに彩り、存在感を放った。

**絢爛豪華な装飾を纏った「動く祭礼建築」
「桐生祇園屋台総揃え」で史上初の全台揃い踏み！**

現在は四丁目の屋台のみ「桐生鉾座」（7月号P1参照）にて組み立てた状態で常設展示されるものの、他の5基はいずれも、普段は解体した状態で保管。各町会が天王番の際などに組み立てて展示することはあるものの、全6基を組み立てた状態で一挙に展示する機会はこれまでに一度も無く、「誰も見たことのない光景」が令和の世で実現する。

爽やかな秋の桐生に、新たな歴史の一コマを刻む祇園屋台。その6基それぞれに込められた荘厳な芸術の粋を味わいつつ、桐生祇園祭の深い伝統と優雅な趣に想いを馳せたい。

桐生市合併20周年記念事業 桐生祇園屋台総揃え

○開催日時／2025年11月1日（土）〜3日（月・祝）
午前9時〜午後5時（入場無料）

○会場

メイン会場＝まちなか交流館 多目的広場
（桐生市本町1-7-4）

四丁目会場＝桐生鉾座（桐生市本町4-328）

○主催／桐生八木節まつり協賛会

○問合せ／桐生祇園祭保存会 総揃え専用アドレス
souzoroe2025@gmail.com

○HP／<https://www.souzoroe.com>